

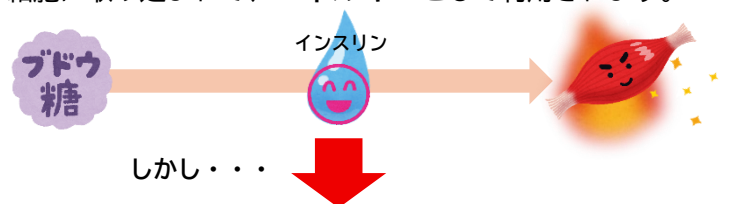
# Information12

今年も残すところあと1カ月となりましたね☆彡

皆様いかがお過ごしでしょうか？

今回のテーマは“糖尿病”についてです。

食事内の糖やでんぷんを分解してできたブドウ糖が  
消化管で吸収され血中に入ると血糖値が上昇！  
これを膵臓のβ細胞が感知するとインスリンが放出され、  
細胞に取り込まれて、エネルギーとして利用されます。



膵臓からのインスリン分泌が不足したり、インスリンに対する体の反応が鈍ることで  
血糖が細胞で利用されず、**血糖値の高い状態**が続いてしまうのが**糖尿病**です。



また腎臓がブドウ糖を処理しきれなくなり、尿にブドウ糖が排出されてしまいます。

犬が多い

## I型糖尿病

インスリンがほとんどない



・・・膵臓のβ細胞が破壊されることでインスリンの分泌ができない状態

猫が多い

## II型糖尿病

インスリンがあるけど少ない



・・・インスリン分泌低下とともに、肝臓や筋肉、脂肪組織の細胞において  
インスリンが十分に作用されず、血中のブドウ糖を処理できない状態

血糖値を下げようとするホルモンは  
インスリンだけ！

## 糖尿病の症状

- ☐水をたくさん飲む
- ☐尿をする回数が多い
- ☐たくさん食べているのに痩せてきた
- ☐食欲が変化する

(糖尿病初期では食欲が増し、状態が悪化すると食欲は減少します)



## 糖尿病が引き起こす病気



### ●ケトアシドーシス

インスリン不足により血糖値が著しく上昇し、  
体内にケトン体が蓄積され血液が酸性に傾く病気です。

食欲減退や運動量低下  
嘔吐、下痢を引き起こします！

### ●白内障

ブドウ糖はアルドース還元酵素によりソルビトールへと変換され蓄積  
ソルビトールは細胞膜を自由に通過できないため、細胞内の浸透圧が上がります。  
そのため目の水晶体が膨れて白内障を引き起こします。



※免疫機能も低下するため、尿路感染症など**感染症**にもかかりやすくなります。

## ～治療方法と管理方法～

### インスリン治療



### 食事療法



### 運動管理



8歳前後が糖尿病発症のピークだと言われています。

この年代に差し掛かる場合は健康診断や日々の観察をより  
丁寧に行いましょう💡

